

気象因子と発生量の関係（月別発生量多い順）

第2表

積		算				備考	
年 月 日	温 度	湿 度	降 水 量	発生量(乾)	順 位	平均湿度	
	°	%	mm	g			
42.3	1～10	60.9	734.0	20.5	4.054	1	平均湿度
〳	11～20	88.5	751.5	61.8	3.216	2	
〳	21～31	111.2	815.0	66.2	2.476	3	
	3月計	260.6	2,300.5	148.5	9.746	1	
42.2	1～10	47.2	815.0	14.6	1,981	4	80.7
〳	11～20	21.8	823.5	14.3	1,118	6	
〳	21～28	57.9	615.5	11.4	0	—	
	2月計	126.9	2,259.0	40.3	3,099	2	
42.4	1～10	141.9	749.0	176.4	1,797	5	74.5
〳	11～20	134.7	785.0	78.6	172	9	
〳	21～30	142.4	700.0	29.6	289	8	
	4月計	419.0	2,234.0	284.6	2,258	3	
42.5	1～10	159.5	808.0	63.9	598	7	68.3
〳	11～20	201.1	596.0	2.9	0	—	
〳	21～31	245.6	714.5	28.7	0	—	
	5月計	606.2	2,118.5	95.5	598	4	
42.1	1～10	31.4	791.5	25.1	0	—	81.8
〳	11～20	7.8	851.5	8.3	0	—	
〳	21～31	38.5	893.5	32.8	0	—	
	1月計	77.7	2,536.5	66.2	0	—	
42.6	1～10	234.4	618.5	10.7	0	—	65.0
〳	11～20	235.1	627.5	16.1	0	—	
〳	21～30	233.4	766.5	57.1	0	—	
	6月計	702.9	2,012.5	83.9	0	—	

## 81. マツタケ試験について

長崎県総合農林センター 古 賀 淳

本試験は、国の連絡試験として実施されたもので、基礎研究は京都大学で実施されており、林業試験場関西支場が中心となり関西、近畿、中国の各府県、篤林家を含めてマツタケ懇話会が設立され、昭和41年度から全国13府県の共同試験となったものであります。

試験の目的—アカマツ林経営上の副産物として農家収入に寄与することの大きいマツタケの増産をはかるための応用試験であって、組織的な発生環境調査並に環境改善試験を実施する。

試験方法—昭和41年度は林野庁の実施要領に基き環境調査を行った。

### 環境調査

A 試験地はセンター実験林の中で現在マツタケの発生が盛なアカマツ林を選定した。

### 試験地の概要

- I 所在地 長崎県諫早市貝津町  
総合農林センター実験林
- II 標 高 30m
- III 気 象 最近10年間
- IV 成林の原因 天然生赤松雑混交林
- V 地 形  
位置 実験林の西端に位置し、部落有林に接し

周囲は農道歩道及び防火線で囲まれている。  
傾斜 10°~20°

方位 ENE NE75° の方向に斜面があり、  
峻線は略NSの方向を走っている。

Ⅵ 地 質 第三紀層に属し、砂岩を母材とした  
土壌でA~B層は非常に薄い。

Ⅶ 土壌型 B<sub>B</sub>(d)

Ⅷ 菌環について 初年度で確実ではないが30ヶ  
所に発生をみた。

菌環の密度 0.1ha当り 0.7

B 調査区の設定調査区は試験地の中で確認した菌  
環を中心として400m<sup>2</sup> (20m×20m) の区割に設  
定した。

I 林況調査

(1) 毎木調査

(2) 地表植生調査 羊 菌 の 叢 生 地 で 図 で 表 示  
した。

(3) 樹冠投影図並に側面図の作成

コロラード法、トランセクト法により50分  
の1で作成

(4) アカマツの最近の生育状態

調査区の落葉の平均値 80.44松くい虫の被  
害を受け生育は不良である。

II 菌環ヶ所調査 位置図作成

III 土壌断面図調査

(1) DH 落葉層 4.5

土壌層 5.2 ※ガラス電極法

IV 地温の測定 別紙

V マツタケ発生調査 別紙

発生位置を針金で標示

C 環境改善試験

試験地を次の通り10区 (面積100m<sup>2</sup>10m×10m)  
設定し試験中である。

試験 区 No.	作業種		
	灌 水	掻き起し	庇陰調
1	○	○	○
2	○	×	○
3	○	×	×
4	○	○	×
5	×	○	○
6	×	×	○
7	×	×	×
8	×	○	×
9	羊 菌	全 刈	区
10	羊 菌	条 刈	区

マツタケ発生量調査 (期間自41.10.14至41.11.8)

菌 環 番 号	採 取 月 日	本 数				重 量				備 考
		つぼみ	中つぼみ	開	計	つぼみ	中つぼみ	開	計	
A 1	10. 14	1	1	—	2	37 <sup>g</sup>	47 <sup>g</sup>	—	84 <sup>g</sup>	10/11 小つぼみ 発見
〃	〃 15	—	2	—	2	—	74	—	74	
〃	〃 17	5	6	—	11	167	250	—	417	
〃	〃 19	—	1	1	2	—	32	22	54	
〃	〃 21	—	—	2	2	—	—	42	42	
小 計	—	6	10	3	19	204	403	64	671	
A 2	10. 14	1	3	5	9	52	290	612	954	
〃	〃 18	2	—	—	2	160	—	—	160	
〃	〃 19	—	—	1	1	—	—	166	166	
〃	〃 20	1	—	—	1	88	—	—	88	
〃	〃 26	—	1	—	1	—	12	—	12	
小 計	—	4	4	6	14	300	302	778	1380	

菌 壊 番 号	採 取 月 日	本 数				重 量				備 考
		つぼみ	中つぼみ	開	計	つぼみ	中つぼみ	開	計	
A 3	10. 14	—	—	3	3	—	—	250	250	
小 計	—	—	—	3	3	—	—	250	250	
A 4	10. 18	1	—	—	1	50	—	—	50	
〃	〃 25	—	1	1	2	—	22	56	78	
小 計	—	1	1	1	3	50	22	56	128	
A 5	10. 25	—	—	3	3	—	—	210	210	
小 計	—	—	—	3	3	—	—	210	210	
A 6	11. 8	—	—	1	1	—	—	48	48	
小 計	—	—	—	1	1	—	—	48	48	
合 計	—	11	15	17	43	554	727	1406	2.687	

まつたけ試験地地温測定表

月 日	天 気	地 温		月 日	天 気	地 温	
		最 高	最 低			最 高	最 低
9. 19	晴	23.5	20.5	12. 9	晴	11.05	9.5
28	〃	20.9	19.0	17	〃	11.0	8.5
30	〃	20.5	19.5	26	曇後雨	12.5	9.0
10. 5	〃	20.0	19.0	1. 5	曇	10.0	7.0
7	雨	20.5	19.5	7	〃	8.5	7.5
12	晴	20.5	20.5	13	晴	8.5	4.5
15	曇	19.5	19.5	18	晴後曇	7.5	5.0
18	晴	21.5	19.0	2. 3	曇後雨	12.0	5.5
20	〃	18.5	17.0	9	晴	10.0	6.0
24	〃	18.0	16.0	14	晴	10.0	5.5
28	曇	19.0	17.5	20	晴後曇	7.0	5.0
11. 1	晴	17.5	16.0	28	晴	8.0	6.5
7	〃	16.5	15.0	3. 3	晴	8.0	6.5
10	曇	16.0	15.0	7	〃	11.5	7.0
15	曇	18.5	14.5	19	〃	13.0	6.0
26	晴	15.0	11.5	22	〃	10.5	9.0
12. 1	〃	14.5	11.0				
6	〃	12.0	10.0				